

事務事業評価（主要事業レビュー）【水道事業会計】

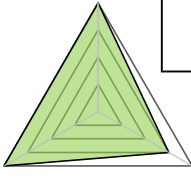
款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01新設工事費

事務事業番号

01010101

事業名		新設事業				
担当部署		上下水道部水道課				
根拠法令		水道法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	28,761	28,047	252,934	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金			133,333		
	地方債	13,574	13,574	83,600		
	その他	13,050	13,090	16,600		
	一般財源	2,137	1,383	19,401		
	人件費(B)	-	-	-		
	事業費計(A+B)	28,761	28,047	252,934		
事業の目的		給水区域内の開発行為に伴う配水管整備や、消防水利の充実を図るため消火栓の整備を行います。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		   1 配水管の新設 植苗地区に配水管を新設しました。 2 消火栓の新設（負担金事業） 拓勇東町、北栄町、ウトナイ北に消火栓を新設しました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	給水普及率		%	99.96	99.97	99.96
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			配水管の新設による市民の利便性向上や消火栓の新設による消火活動の円滑化につながります。	
	効率性		●		開発行為にあわせた配水管整備や消防本部と連携した消火栓整備を効率的かつ計画的に実施しています。	
	公平性	●			本事業の実施により水道水利用の市民ニーズに応えられるほか、消火活動の円滑化により市民の安全・安心の確保につながります。	
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、市民ニーズに応えることや消火活動を効率的に実施するために重要であることから、今後も継続的に取り組みを進めてまいります。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。				

事務事業評価（主要事業レビュー）【水道事業会計】

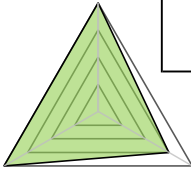
款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02改良工事費

事務事業番号

01010201

事業名		改良事業				
担当部署		上下水道部水道課				
根拠法令		水道法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,385,732	1,127,828	1,117,279		A
	(A)の内訳					
	国道支出金	307,623	226,544	136,334		
	地方債	960,879	787,426	909,900		
	その他					
	一般財源	117,230	113,858	71,045		
	人件費(B)	-	-	-	公平性	効率性
	事業費計(A+B)	1,385,732	1,127,828	1,117,279		
事業の目的		老朽管は管路内の錆等により濁水が発生しやすくなるほか、地震被害を受けやすいため、耐震管に更新します。また、老朽化した設備を更新することで、安全・安心な水道水を安定的に供給します。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
  		1 老朽管の更新 糸井地区、表町、若草町等の老朽管を耐震管に更新しました。 2 老朽施設の更新 高丘浄水場の原水量水井の改築に着手し、R8年度の完成を目指します。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	老朽水道管の更新率		%	95.5	96.1	96.5
	水道施設の耐震化率		%	84.2	84.2	84.2
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			老朽管や老朽化した設備の更新により、安全・安心な水道水を安定的に供給することができます。	
	効率性		●		経営戦略および新水道ビジョン実施計画に基づき、優先順位を定めながら効率的かつ計画的に事業を実施しています。	
	公平性	●			本事業の実施により水道システム全体の機能が維持されるため、広く市民の利益につながります。	
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、水道水の安全性・安定性を維持していくために必要な事業であることから、今後も効率的かつ計画的に取り組みを進めてまいります。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。				

事務事業評価（主要事業レビュー）【水道事業会計】

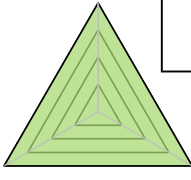
款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 03量水器施設費

事務事業番号

01010301

事業名		量水器施設事業				
担当部署		上下水道部水道窓口課				
根拠法令		計量法及び同法施行令、苫小牧市水道事業給水条例及び同条例施行規則				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	461,039	457,973	626,676	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	461,039	457,973	626,676		
	人件費(B)	0	0	0		
	事業費計(A+B)	461,039	457,973	626,676		
事業の目的		水道使用者への料金請求根拠となる水道使用量を計量するため、計量法で定められた検定有効期間が満了となる水道メーター（以下「検満メーター」という。）の取替え、工事に必要なメーターの購入、家屋の新築等に伴う貸付けに必要な新設メーターの購入を目的としています。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		  - 検満メーター取替工事 計量法で定められた水道メーターの検定有効期限（8年）を迎える貸付水道メーターの交換を行うため、水道メーター取替工事を実施しました。 - 新設メーターの購入及び貸付け 家屋の新築等に伴う新規水道メーターの貸付けを行うため水道メーターの購入を行いました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	工事による検満メーター取替数		箇所	11,265	11,062	10,499
	新設メーターの購入数		個	1,045	984	788
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				貸付けをしている水道メーターは、計量法で検定有効期限（8年）と定められており、水道事業の責務として水道メーターの交換を実施するものです。
効率性		●				検定有効期間満了により交換するメーター数は、年度ごとに大きな差が生じないよう平準化を図り、効率的な実施に努めています。
公平性		●				水道メーターの定期的な交換を行うことで、計量精度を維持し、安心して使用することができ、水道利用者からの信頼を得られることで、安定した水道料金の徴収につながっています。
事業の課題 今後の方向性		人口減少による収益の減少や、物価高騰等の社会情勢を踏まえた事業経営を図るためには事業費の高騰を抑制することが必要であり、他の自治体の実施事例を参考に検討を行ってまいります。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【水道事業会計】

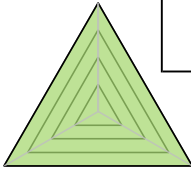
款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 06固定資産取得費

事務事業番号

01010601

事業名		固定資産整備（水道事業）				
担当部署		上下水道部錦多峰浄水場				
根拠法令		水道法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,858	3,848	7,516		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他			2,362		
	一般財源	3,858	3,848	5,154		
人件費(B)	-	-	-			
事業費計(A+B)	3,858	3,848	7,516			
事業の目的		水道水の安全性を確保するため、水質検査に必要な固定資産の整備を計画的に行います。				
事業の内容		SDGs17の目標  3 すべての人に健康と福祉を  6 安全な水とトイレを世界中に 1 水質検査に必要な機器の更新 (1) イオンクロマトグラフ分析装置 1台 水道水の水質基準項目のうち、「塩化物イオン」などの水質汚濁の指標となる項目や、「亜硝酸態窒素」などの有害性のある項目の分析に必要な機器です。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		機器・装置の整備	台	1	1	1
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				機器の更新により水質検査が適正に行われるため、水道水の安全性を持続的に確認することができます。
効率性		●				各種機器類について耐用年数を考慮した更新計画を策定し、整備を実施しています。
公平性		●				水質検査に必要な機器を更新することにより、安全・安心な水道水を安定的に供給することができるため、広く市民の利益につながります。
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、目的に合った固定資産の整備ができています。 本事業は、水道水の安全性を確認するために重要であることから、今後も効率的かつ計画的に取り組みを進めてまいります。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項						